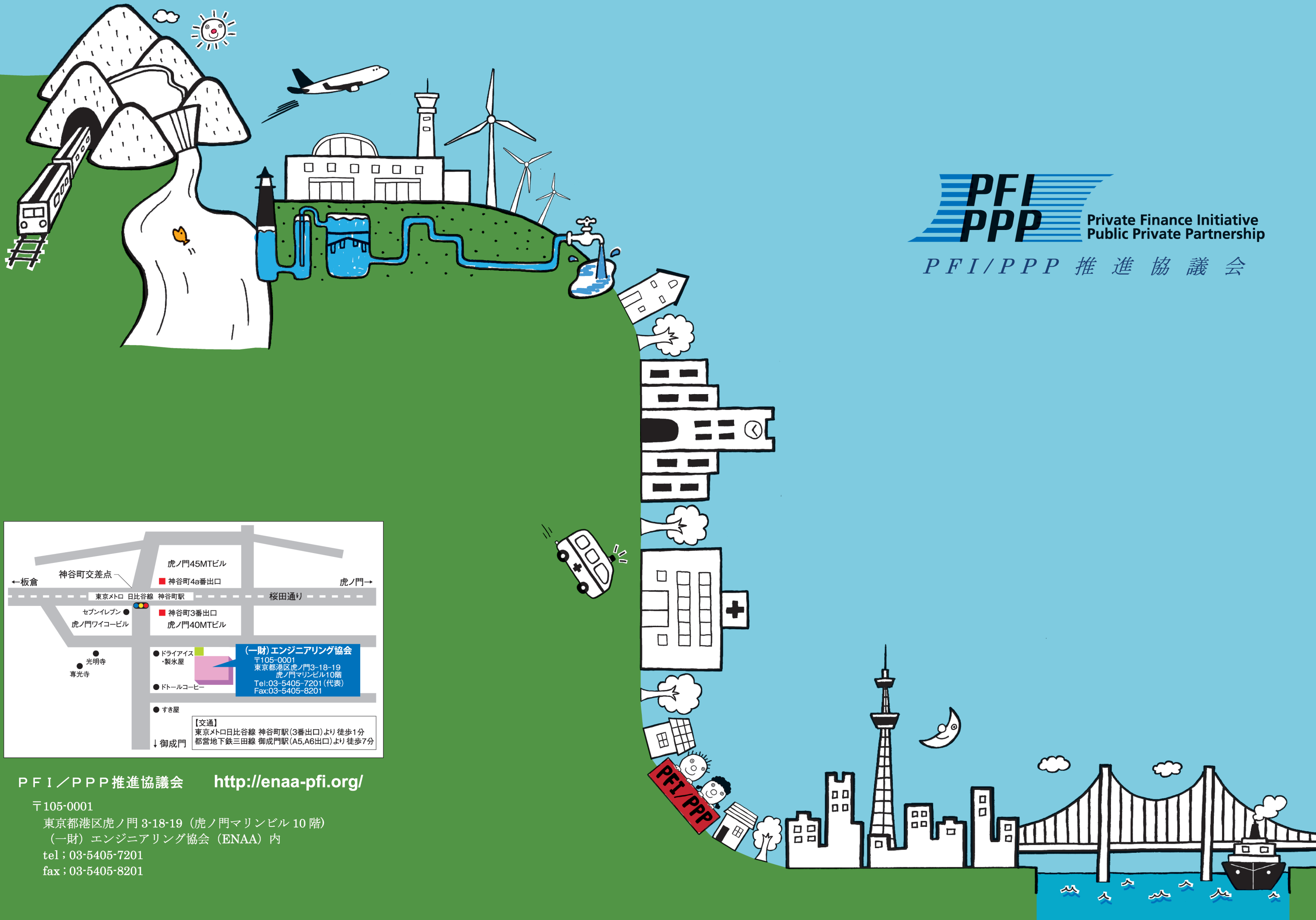
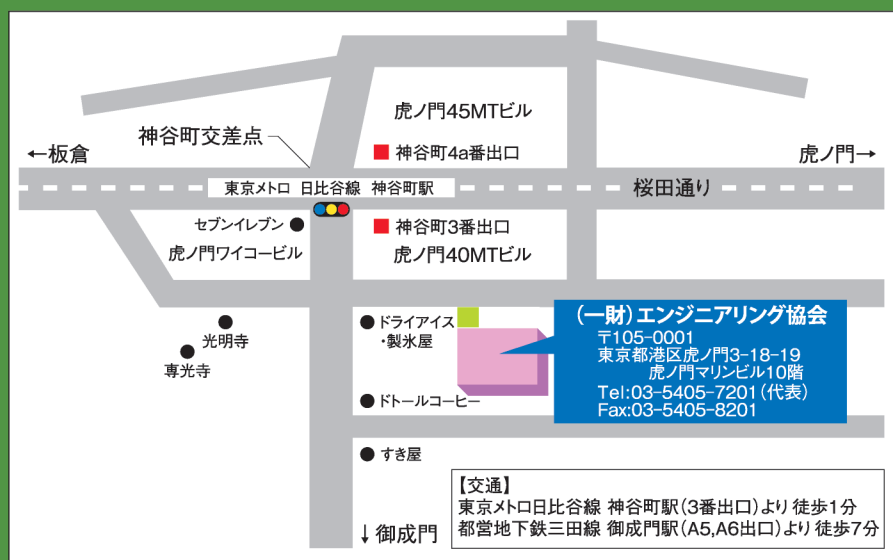




Private Finance Initiative
Public Private Partnership

PFI/PPP 推進協議会



PFI/PPP 推進協議会 <http://enaa-pfi.org/>

〒105-0001

東京都港区虎ノ門 3-18-19 (虎ノ門マリンビル 10 階)

(一財) エンジニアリング協会 (ENAA) 内

tel ; 03-5405-7201

fax ; 03-5405-8201

会長ごあいさつ

わが国の経済は、永らく続いたデフレ経済を脱却し、ようやく成長回復の軌道に乗りかかるところまできたと考えられます。2020年に東京で開催されますオリンピック・パラリンピックを5年後に控え、首都圏では高度成長期に整備された都市構造や社会インフラを強化、再構築するようなプロジェクトも取り組まれてきております。

一方、地方圏においては、高齢化・人口減少による活力低下が深刻化しており、それに対する対応策が大きな課題となっています。国においては、「地方創生」を政策の柱に据え、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、各地域において「稼ぐ力」、「地域の総合力」、「民の知見」を引き出す取り組みが行われているところです。

また、老朽化する社会資本の更新という課題に対しても、公共施設等の全体を一元的に把握し、更新等を計画的に行うために総合管理計画の策定が進められています。

ここで、これらの取り組みについて共通するのが、官主導ではなく官民連携により民のノウハウや資金を活用すべきという考え方であり、PFI/PPPの活用・推進が益々重要となっているといえましょう。

閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2015」（いわゆる骨太の方針）では、政府としてのPFI/PPP推進の姿勢をさらに鮮明にし、「PPP/PFIの抜本改革に向けたアクションプランの実行を加速」や、「国や例えば人口20万人以上の地方公共団体等において、一定規模以上で民間の資金・ノウハウの活用が効率的・効果的な事業については、多様なPPP/PFI手法導入を優先的に検討するよう促す仕組みを構築する」といった極めて強力な表現でPFI/PPPの推進が謳われているところです。

当協議会の活動は、大きく部会活動とセミナー活動の2つで構成されており、会員企業の皆様にご参加いただき、活発な活動が展開されています。

これまで、「リスク・契約研究部会」、「廃棄物処理施設官民連携推進部会」、「水道事業官民連携推進部会」の3つの部会が、先進的な取り組みをしている事例についての情報収集、現地視察、意見交換等を実施し、今後のPFI/PPPのあり方について議論を深め、会員間での情報共有を行いました。今後は、これまでの3つの部会の活動に加えて、道路関連分野における官民連携推進のニーズの高まりに応えるべく新たに発足した「道路関連事業検討部会」の活動を始動します。道路の維持管理や道路関連事業に関して地方自治体等に関する諸課題を共同検討していきたいと考えています。

セミナー活動については、各地の経済産業局のご協力を得て全国で「PFI/PPPセミナー」を開催し、コンセッションの制度とその検討状況、新たに設立されたPFIの支援ファンド（民間資金等活用事業推進機構）、各分野での先進事例の紹介等の最新トピックの情報提供について好評を頂いています。今後も、各地でのPFI/PPPのさらなる推進・普及を支援するために、地域の実情とニーズに応えたセミナー内容を企画し実施していきたいと考えています。

ここ数年ご協力している内閣府PFI専門家派遣制度については、当協議会の会員企業からPFI専門家を派遣致しました。地方自治体がPFI/PPP事業の第一歩を踏み出す段階でのご支援として大変有意義な取り組みであると評価いただいております。今後も積極的に協力していきたいと考えています。

さらに当協議会として、広くPFI/PPPの推進についての広報・啓発活動に取り組みたいと考えており、自治体会員様への支援・情報提供活動、出版活動、政策提言活動等についてもこれまでの活動をさらに充実させていきたいと考えています。

最後に、国の強力な推進方針を受けてPFI/PPPの期待が益々高まる状況の中で、当協議会は、時流のニーズを十分に踏まえ、PFI/PPP事業の推進に貢献できる活動を展開してまいりたいと思いますので、会員の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



PFI/PPP推進協議会 会長

(パシフィックコンサルタンツ株式会社 代表取締役社長)

高木 茂知

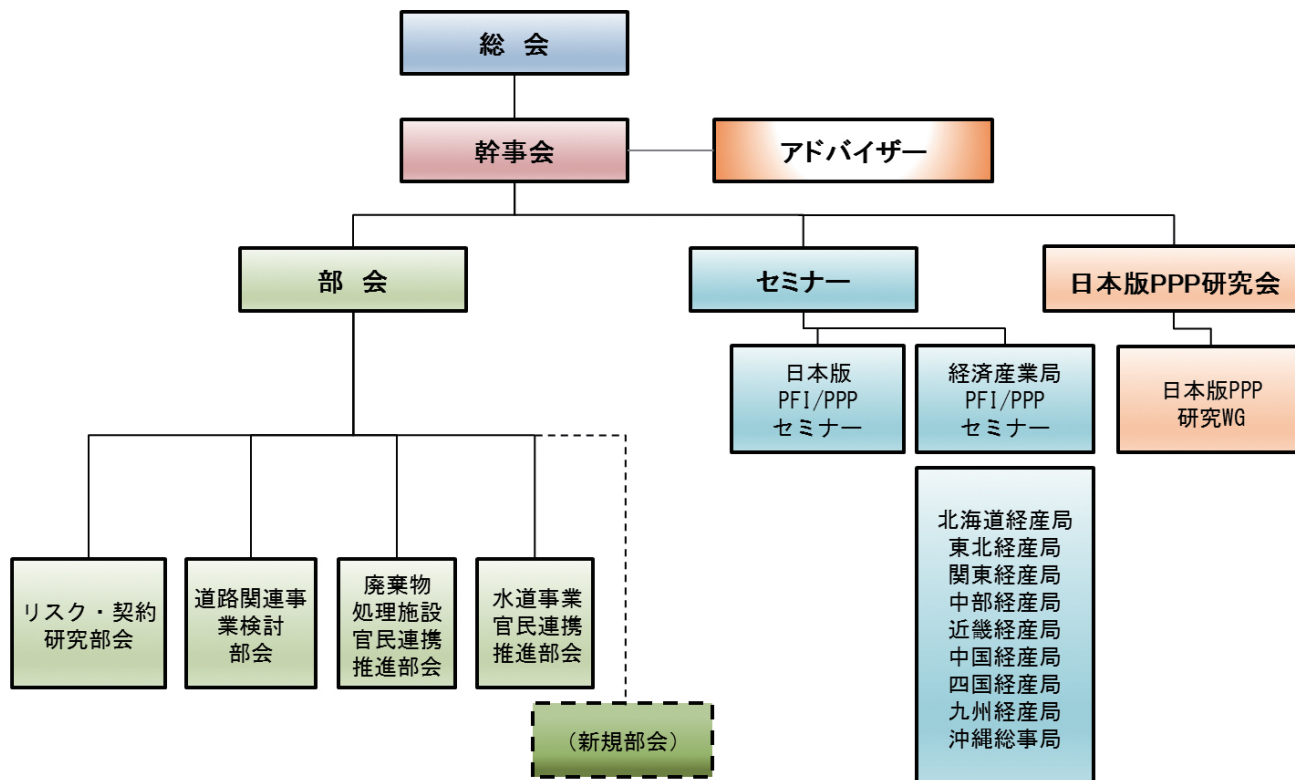
(2015年7月)

PFI/PPP推進協議会

■ 設立趣旨

「民間にできるものは民間に委ねる」という原則の下、官民両者にとっての効率的かつ効果的な PFI のあり方とその実践が問われている。公共サービスの提供のあり方について様々な手法を検討し、更なる PFI/PPP の普及・啓蒙を推進し、これによる事業案件の発掘と具現化を目的とし、1997 年 12 月に協議会を設立した。

■ 活動体制



■ 沿革

○1997 年 12 月（平成 9 年）； 新エネルギー・リサイクル等 PFI 推進協議会設立

○2002 年 7 月（平成 14 年）； 新エネルギー・リサイクル等 PFI 推進協議会を PFI/PPP 推進協議会に改称

協議会の活動

■ 研究部会

□ リスク・契約研究部会

PFI/PPP の普及・促進のネックになることが多い法制度や契約行為に係わる諸課題の分析及びその解決を図るための方策の研究を主な目的とし、次のテーマを掲げ研究しています。

- ① コンセッションに関すること
- ② ISO55000 シリーズの取得や活用に関すること
- ③ 最新の事業事例の視察
- ④ 国内・海外の PFI/PPP 事業に関する情報収集
- ⑤ わが国における PPP/PFI の制度等に関すること
- ⑥ 全国 PFI 事業案件のデータベース

□ 道路関連事業検討部会

PFI/PPP 推進協議会のメンバーがこれまで培ってきたノウハウ（公共施設の設計・施工・維持管理などのトータルな業務の提供、総合住民サービスの提供、事業の効率化の知恵等）を活かし、道路関連施設の整備や維持管理など、地方自治体等が抱える諸課題を共同検討することを目的として活動しています。

- ①道路関連事業において地方自治体等が抱える諸課題の把握
- ②課題解決に資する事業の構想と具体的な事業スキームやモデル事業プロジェクトの検討
- ③地方自治体等への事業提案

□ 廃棄物処理施設官民連携推進部会

一般廃棄物処理施設においては、生活環境の保全や公衆衛生の向上に加え、エネルギー回収施設や防災拠点といった新たな機能による高度な循環型社会の構築への寄与が求められています。また今後、急速な人口減少・高齢化社会を迎えるにあたり、ごみ量・ごみ質の変化が廃棄物処理における新たな課題となりつつあります。

- ①高度な循環型社会の実現や人口変化などに対応した将来の廃棄物処理における官民連携のあり方
- ②地方自治体の具体的な事例をケーススタディ
- ③清掃工場の事業終了時における留意事項に関する検討

□ 水道事業官民連携推進部会

国のアクションプランの集中期間の取り組みにおいて水道事業、下水道事業の分野では、公共施設等運営権方式をそれぞれ6件実施するという数値目標が掲げられています。こうした中、一部の事業体においては厳しい経営環境への対応策の一つとして、多様なPFI/PPP手法について検討する団体も増えています。また、本格的な人口減少・少子高齢化により水需要が減少する中において広域化の取り組みも顕在化しつつあり、水道事業、下水道事業に対するニーズの変化を的確に捉え、これらについて検討していきます。

- ①新たなPFI/PPP手法の導入や広域化について
- ②地方自治体との共同検討（水需要の見通しを踏まえた施設の統廃合などにおけるPFI/PPP手法導入の可能性について）

■ 日本版 PFI/PPP セミナー

日本版PFI/PPPセミナーでは、各部会の検討分野を越えた包括的なテーマを設け、講演や現地視察などを実施しております。一例をあげれば、白糸ハイランドウェイの視察ではISO55000シリーズによる維持管理手法を調査するなど、様々な分野の方が参加可能なセミナーとして、会員各社の今後の事業提案に役立つセミナーを企画しています。

■ 経済産業局 PFI/PPP セミナー

各地方の経済産業局及び沖縄総合事務局との共催で「経済産業局PFI/PPPセミナー」を国土交通省地方整備局、経済団体、地元関係団体等のご協力を得て、会員以外の方々も聴講可能なセミナーとして開催しております。

本セミナーでは、PFI/PPPにおける基本的な概要、コンセッションの現状と課題、公共保有の跡地利用などを紹介し、毎年、各地で盛況を得ております。

講演事例	
PFI/PPP制度の概要と基礎知識	コンセッション：現状と課題（どう使えるか？果たして使えるのか？）
日本再興戦略・国家戦略特区と国内外のPFI/PPPの動きについて	「ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）」の導入に向けて～新たなイノベーションと投資市場の創出を～
有料道路の管理代行における現状と課題	PFIによる県営住宅団地の建替事業について

■ 内閣府 PPP/PFI 専門家派遣の協力

内閣府民間資金等活用事業推進室（PFI推進室）が実施している「PPP/PFI専門家派遣制度」において、当協議会は派遣する専門家の推薦について委嘱を受け、協力を行っています。

平成27年度は地方自治体等に対し、PFI/PPP推進協議会の会員企業から計21回の専門家を派遣し、PFI/PPPの普及・啓蒙に貢献しています。

地方自治体から要請があったテーマの例	
PFI/PPP事業の概要や基本的事項	公園の維持管理・運営に対する民間活用の導入
市民体育館の建替え	駐車場・道の駅におけるPFI事業の進め方
総合体育館、地域交流拠点等の整備	市有地と民地を一体とした定期借地権を活用した施設の合築
旧庁舎の跡地利用	観光施設の運営をPFI事業化できないか
給食センターにおけるPFI事業の導入可能性	浄水場の包括的委託
公営住宅におけるPFI事業の導入について	一般廃棄物施設の建替え・運営
歴史的建造物の利活用について	一般廃棄物施設の長寿命化

協議会の組織概要

会 員	地方自治体・団体；101 団体 民間企業 ；26 社（内、賛助会員 1） (平成 28 年 8 月 7 日現在)
会 長 会 社	パシフィックコンサルタンツ株式会社
副 会 長 会 社	(株) NTT データ 清水建設 (株) 電源開発 (株)
監 査 会 社	(株)熊谷組 PwC アドバイザリー合同会社
幹 事 会 社	(株) I H I / ヴェオリア・ジャパン (株) / (株) N T T データ (株) 熊谷組 / 清水建設 (株) / 新日本有限責任監査法人 電源開発 (株) / (株) 東芝 / (株) 日本総合研究所 パシフィックコンサルタンツ (株) / PwC アドバイザリー合同会社
ア ド バ イ ザ ー	清水 洋一郎 (株) エムビジュアル 代表取締役社長) 杉田 定大 (東京工業大学 特任教授) 西川 知雄 (西川シドリーオースティン法律事務所・外国法共同事業 代表) 光多 長温 (公益財団法人都市化研究公室 理事長) 美原 融 (大阪商業大学総合経営学部 教授) ※五十音順、敬称略
事 務 局	P F I / P P P 推進協議会 (一般財団法人 エンジニアリング協会内)

参加団体

(平成 28 年 8 月 7 日現在)

<地方自治体・団体 (101)>

札幌市
旭川市
室蘭市 (企画財政部)
室蘭市 (西いぶり広域連合)
稚内市
青森県
岩手県
岩手町
一関市
釜石市
宮城県
大館市
福島県
須賀川市
相馬市
茨城県
古河市
大田原市
埼玉県 (企業局)
埼玉県 (企画財政部)
朝霞市
さいたま市
狭山市
深谷市
千葉県
我孫子市
柏市
木更津市
佐倉市
流山市
四街道市
松戸市
東京都
稲城市
三鷹市
調布市

東久留米市
府中市
立川市
神奈川県
横浜市
小田原市
川崎市
平塚市
藤沢市
糸魚川市
上越市
三条市
石川県
長野県
長野市
千曲市
岐阜県
美濃市
静岡県
掛川市
浜松市
甲府市
愛知県
名古屋市
西尾市
知多市
知立市
大津市
長岡京市
大阪府
吹田市
箕面市
三田市
和歌山市
倉敷市
広島県

呉市
山口県
宇部市
西予市
下関市
今治市
阿南市
美波町
北九州市
宗像市
東峰村
唐津市
熊本県 (企業局)
熊本県 (環境生活部)
八代市
薩摩川内市
糸満市
宜野湾市
恩納村
東埼玉資源環境組合
砺波広域圏事務組合
岐阜県清掃事業協同組合
(一社)北海道総合研究調査会
山形広域環境事務組合
(一社)中央政策研究所
(株)オービス
八戸圏域水道企業団
日本廃棄物団体連合会 国際
委員会

株式会社 オリエンタルコンサ
ルタンツ
株式会社 熊谷組
株式会社 五星 パブリックマ
ネジメント研究所
J F E エンジニアリング株式会社
清水建設株式会社
新日本有限責任監査法人
株式会社地域経済研究所
月島機械株式会社
電源開発株式会社
株式会社東芝
中日本高速道路株式会社
パシフィックコンサルタンツ株
式会社
西川シドリーオースティン法律
事務所・外国法共同事業
株式会社日本総合研究所
日立造船株式会社
P w C アドバイザリー合同会社
三菱化工機株式会社
株式会社明電舎
メタウォーター株式会社
株式会社 四電工

<賛助会員 (1)>

日本電気株式会社 (関西支社)

<オブザーバー (2)>

(一財) 日本環境衛生センター
(公社) 全国都市清掃会議

<民間企業 (25)>

株式会社 I H I
株式会社 安藤・間
ヴェオリア・ジャパン株式会社
株式会社 N T T データ
大阪ガス株式会社